

中洋小学校の SWOT 分析(学校運営協議会委員)

	強み S	弱み W
内部要因 (校内)	<p>【本校のよいところ・大切にしている文化・強みとなっている取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花や緑が多い。花壇等の環境が整備されており、「美しい学校」をめざしている ・あいさつができる(あいさつ運動) ・履き物がそろう ・落ち着いた環境でのびのび学べる ・地域とのつながりがある ・「たくしゃ教室」での学びとつながりがある ・「たくしゃ教室」や体験学習等、地域住民と協働する学校運営に取り組んでいる。 ・少人数により <ul style="list-style-type: none"> → 落ち着いて学べる → 校庭等を広く使える → 一人ひとりに目が行き届きやすい → 活動がまとまりやすい → 同メンバーで長く過ごし人間関係が密になる → 過度な競争になりにくい → 上学年下学年の仲がよい → 上学年が下学年をサポートする 	<p>【うまくいっていない点・改善が必要な仕組み・負担が大きい点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹林や雑木、草の管理が負担 ・学習支援ボランティアが少ない ・教員数が少ない(一人当たりの業務負担の増加) ・学校に関わる人が少ない・偏っている ・正門が踏み切り近く <ul style="list-style-type: none"> → 危険(就学を迷う保護者もいる) → 騒音 ・児童数の減少と競争力の低下 ・1～2年生用のトイレが臭い・汚い、和式が難しい ・グラウンドに上がる階段が登りづらい ・駐車場がわかりにくい ・行事が賑やかさに欠けている ・少人数により <ul style="list-style-type: none"> → ダイナミックさが不足する。 → 運動会や部活が小規模になり可能な活動種が限定される → クラス替えがなく、人間関係が固定化されやすい → 競い合いの機会が少なくなる → 刺激や新しい出会いが少ない → 多様な意見が出にくいなど協議が深まりにくい → 同じ子どもがリーダーになりやすい → PTA 役員など保護者負担が増える

	機会 O	脅威 T
外部要因 (校外)	<p>【追い風となる環境・生かせそうな制度やリソース(資源や支援)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区内に学びの交流テラスができた ・地元産業(農業・漁業・企業・観光)を直接体験学べる ・外部人材が校内に入ることでの刺激が効果的 ・異文化理解教育(英語・基地等) ・地元住民との距離が近く子どもが地域に愛着をもつ ・地域の見守り活動がしっかりしている ・顔見知りが増えて地域で育てる感覚が出やすい ・学習支援「たくしゃ教室」へ参加してくれる住民がいる ・グラウンド草刈りに多くの住民が協力してくれる ・人材バンクがある(人的資源) <ul style="list-style-type: none"> →総点検・活用・再募集 例:低学年の社会見学の付き添い等 	<p>【学校運営に影響する不安材料・避けられない変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化・高齢化 ・登下校時の見守りボランティアが少ない ・登校時の交通事情(狭い道に車の通行が多い) ・保津方面にトイレがない ・山海での事故災害の危険性 ・米軍基地の驚異 ・子どもが参加できる地域行事が少ない(祭り等) ・運営がボランティア依存になると活動の継続が難しい(協力者の高齢化や減少) ・児童数の減少と学校の存続危機(統廃合) ・家庭数の減少と育友会の存続危機 ・学校運営協議会に女性委員が少ない ・地域の無関心 ・作業負担の増加や偏り(いつも決まった人になる) ・学校運営協議会委員の高齢化 ・建物の老朽化 ・サルの出現 ・ベテラン教員の減少・若い教員の増加